

片瀬だより

令和3年9月25日 発行
 編集・発行 片瀬だより編集委員会
 藤沢市片瀬3丁目9番6号
 片瀬公民館
 電話 0466(29)7171
 F A X 0466(25)8907



片瀬公民館(本館)

片瀬映画館 『99歳母と暮らせば』

11月28日(日)
 午後1時30分から 上映
 午後3時から 谷光 章監督お話



99歳の天真爛漫な母と71歳の息子のユーモアあふれる会話と穏やかで温かい介護の日々をつづつたドキュメンタリー映画です。

申込:11月9日(火)から
 定員:50名(先着順)

知笑の輪倶楽部

『学芸員とめぐる片瀬・江の島パブリックアート散策』

11月16日(火)
 午後1時30分から
 午後3時30分(予定)まで

※雨天時は12月2日(木)に延期
 申込:10月29日(金)から
 定員:20名(先着順)

おひざの上の おはなし会

11月16日(火)
 午前11時から正午まで
 申込:10月20日(水)から

12月21日(火)
 午前11時から正午まで
 申込:11月17日(水)から

※各回、乳幼児と保護者5組。事前予約先着順。

もっと知りたい! ステップアップ SNS

11月27日(土)
 12月4日(土)
 12月11日(土) } 3回の連続講座です
 午後1時30分から3時30分まで

申込:11月1日(月)から12日(金)までメールで受付
 定員:15名(抽選)

楽しく子育て

10月14日(木)『子育て応援メッセ』
 申込:9月28日(火)から

12月16日(木)『クリスマス会』
 申込:12月1日(水)から



両日ともに
 ① 午前10時から10時45分まで
 ② 午前11時15分から正午まで
 ※各回20組。詳細は広報またはチラシをご覧ください。

おもちゃの病院

10月23日(土)
 11月20日(土)
 12月18日(土)
 午後1時30分から3時30分まで
 ※原則、無料で修理しますが部品代がかかる場合があります。



片瀬しおさいセンター

講師付き公開講座

11月11日(木) 午前9時30分から10時30分まで
 『らくらくのびのびストレッチ』
 講師:井筒 奈緒美氏
 申込:10月20日(水)から

12月16日(木)午前9時30分から10時30分まで
 『体幹エクササイズ』
 講師:山口 俊彦氏
 申込:11月30日(火)から
 ※ 各回定員20名。詳細は広報またはチラシをご覧ください。

赤ちゃん和妈妈のオイルトリートメント

11月1日(月) 片瀬しおさいセンター和室
 ① 午前10時から10時40分まで
 ② 午前11時から11時40分まで
 申込:10月13日(水)から

3ヶ月から7ヶ月児と保護者 各回先着4組
 (初めての方、藤沢市在住の方優先)
 材料費:500円(持ち帰り用植物油代)
 ※詳細は、広報またはチラシをご覧ください。

楽しく子育て

11月18日(木)午前10時から正午
 『親子リトミック』
 しおさいセンター トレーニング室



申込:11月9日(火)から
 定員 10組

手芸のじかん

10月4日(月)・
 11月22日(月)
 12月13日(月)
 午前10時から正午まで
 ※事前申込は不要です。材料や道具をお持ち下さい。

発酵調味料を知る!

12月11日(土)
 午前10時から正午まで
 発酵のお話と塩麴を作ります。
 ※詳細は、広報またはチラシをご覧ください。

卓球開放

10月3日(日)・16日(土)・11月14日(日)・
 12月4日(土)・19日(日)
 午後1時30分から2時50分まで、
 午後3時10分から4時30分まで

※詳細は館内掲示ポスターまたはチラシをご覧ください。

バドミントン開放

10月3日(日)・11月14日(日)・12月19日(日)
 午前9時から10時20分まで、午前10時40分から正午まで

11月27日(土)
 午後1時30分から2時50分まで、午後3時10分から4時30分まで

※詳細は館内掲示ポスターまたはチラシをご覧ください。



※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽中止・変更になる場合があります

公民館事業のお知らせ

◎申込は、すべて本館へ電話または来館で(平日のみ午前8時30分〜午後5時)



セーリング会場



江ノ電江の島駅

東京オリンピック2020〜江の島会場〜



島内にも旗がいっぱい



平塚の小学生が育てた朝顔が並びました



ひととき目立つ警戒中のアドバルーン

「やつまや」

片瀬の名店を訪ねて (2)

片瀬公民館前の総菜屋「さつまや」さんを紹介します。お店はおよそ40年前から、それ以前の小規模な時代を含めると、かれこれ50年近く、同じ場所での営業になるそうです。お惣菜は、ご家族のお手伝いを受けて、下川路ふじ子さんが毎日手作りされています。

亡くなられたお連れ合いの敬次さん(平成18年没)が鹿児島出身であったため、屋号を「さつまや」に決めたとのこと。

敬次さんのモットーであった「良い油、良い卵を使い、胸やけしない揚げ物を作ること」「総菜屋は値上げせず頑張ること」を今でも守っているとのことでした。

煮豆とカボチャの煮物は毎日。日替わりでひじき、切り干し大根、竹の子の煮物、海老の天ぷらなどがお店に並んでいます。どれも優しい味付けのものばかりです。

場所柄、公民館で活動するサークルの方々との繋がりが深く、取材中サークル帰りの方々が次々に来店されていました。「暑いから気をつけてね」「来週はお休み？」など親し気な会話が飛び交います。

「顔なじみや、遠くからでも来てくださるお客さんがいたから続けてこられた。ありがたいね」そして「3年前に圧迫骨折をし、まだ痛みがあるけれど、じつとしていられない。前向きに頑張らなくちゃ」と話されるふじ子さんの元気な笑顔もお店の魅力の一つです。



優しい笑顔の下川路ふじ子さん



屋号は、ご主人の敬次さんが鹿児島出身だったことから「さつまや」に



おいしい天ぷら

定休日は土・日・祝日です。

藤澤浮世絵館出張展示会

「浮世絵にみる江戸時代の江の島・藤沢 片瀬・江の島浮世絵展」が7月17日から23日まで、片瀬公民館2階ホールで開催されました。

藤沢市所蔵の浮世絵の中から江戸時代の江の島や東海道五十三次の宿場であった藤沢宿の姿を描いた浮世絵が展示されました。



展示会の様子



歌川広重

「相州江のしま詣の図 七里か浜真景」

絵師により形をデフォルメされ、巨大な岩の塊のようになった江の島や往時の観光客の様子を偲ぶ作品など、興味深い作品をたくさん見ることができました。改めて、地元片瀬・江の島が長く人々に親しまれてきた土地であることを再確認しました。

また、刷りの体験コーナーでは版木に絵の具を置き、和紙を被せバレンで刷ることができました。担当の浮世絵館の職員の方から、浮世絵の彫り、刷り、バレンのことなど、浮世絵が出来上がるまでのお話も伺うことができ、浮世絵への興味が一段と深まりました。



① 版木に絵の具を置きます。



② 和紙を置いてバレンで刷ります。かなり力が必要です。



③ クレイに細かいところまで刷ることが出来ました。

私の散歩道②

気まぐれな散歩

酷暑の夏、散歩は、早朝にするようにしています。外に出た時の空気の様子で、行く先を判断しますが、ついそこまで思いつつも、お寺巡りが多くなります。マスク片手に、まだ明けやらぬ片瀬古道を独り占めにしたような気分での散歩は、贅沢であり爽快です。遠くでガビチョウの声や蝉の鳴き声らしきものを聴きながら、お目当ての古刹で、まだ覚えきれない般若心経を唱え、続いて長い間通い続けているモンゴル所縁の常立寺で、祖父母や子どもたち、孫たちの顔を思い浮かべ、安寧を祈りながらしばし、心の中で声なき会話を楽しみます。

一仕事が終わると、心は海に向かいます。広い海は、歳を重ねても憧れの場所、訪れるたびに表情が異なる波打ち際に立ち、寄せては返し砕け散る白波は、飽きることなく、過ぎ行く時を忘れさせます。そして絶え間ない潮騒は、はるか子ども時代の山河、冷たい水に震えて泳いだあの川、冷え切った体を温めた花崗岩の白い大きな石、川の怖さをものともせず、魚のように泳いだ頃を思い出させてくれます。足腰が許すなら、片瀬の魅力を更に発見し、その素晴らしさを味わう散歩にしたいと思えます。

(片瀬山在住一さん)



緑多い常立寺の山門



片瀬のワンシヨット

オリンピッククカラの洋服を着せてもらったスズメ。どこにいたかご存じですか？(答えは4面)

※ 私の散歩道を150文字程で募集しています。詳細は、片瀬公民館までお問い合わせください。

ふるさと片瀬〜今昔あれこれ〜③③

中村 喬

夏の思い出

「夏が来れば思い出す」水芭蕉の尾瀬が浮かぶ。

しかし、戦後昭和二十年代の江の島・片瀬の子どもたちにとつては海が格好の遊び場だった。小学校四年生の時、担任の先生は夏休みに江の島の西浦に連れて行ってくれた。泳ぎの達者な者は入り江を泳いで渡った。私は自信がなくて崖の裾を恐る恐る歩いて回り道をした。

母親は私達兄弟に西浜はキユウブカ(急深)だから東浜で泳ぎなさいといつも言っていた。実際、西浜が海水浴場となったのは昭和二十三年頃からだと聞いている。また、母はお盆を過ぎると海は危険だと言つて海水浴を許さなかった。八月も半ばを過ぎると台風之余波で波が高くなった。クラゲも出はじめた。

戦後の片瀬の町には進駐軍のジープが走り、海水浴場には外国人の姿も見られるようになった。浜にはそれまで人があつた木の貸しボートに代わつて大きなゴムボートが並ぶようになった。進駐軍の払い下げだということだった。

親たちは都会から避暑地を求めてやつて来る人達にひと夏家を貸し出したり、一部の部屋を提供したりし

た。臨時収入が得られたのだ。私達は窮屈な暮らしをじつと我慢しながらも、都会の人達が持ち込む新しい風を感じていた。

ある夏、我が家には伊藤素道とリリオ・リズム・エアーズというコーラスグループの人達が避暑にきた。テレビで見ることのあるグループだったが、その歌声を我が家で聞くことは無かった。

昭和三十年代に入ると片瀬の浜辺は「東洋のマイアミビーチ」とし、名乗りを上げ、年々夏の人は増えていった。

そして、令和時代の今年、西浜海水浴場はその美観や快適性が評価され、国際認証「ブルーフラッグ」を取得した。

【西瓜割るばんと飛び出す雲ひとつ】



【クローズアップ片瀬】

「五重塔で見た地域の力」



横になった五重塔

長い間、片瀬小学校の図工室に眠っていた五重塔の模型が5月23日に片瀬中学校に運ばれました。昨年、小学校の校長先生から、五重塔を移す話を伺った時には、天井を突き抜けるような大きな模型を、どのように運び出すのか、本当に運び出せるのかと訝しい思いが過りました。

5月23日の朝、片瀬小学校に何うと小・中学校の校長先生を始め、地域の方々が、すでに教室から五重塔を運び出し、積もった埃を払っていられました。これまでに立ったままでしか見なかった五重塔が横になっていて、不思議な感じでした。何方が先導しているのか分からないが、阿吽の呼吸なのでテキパキと作業は進み、軽トラクに積み込まれました。

片瀬中学校での鎮座場所は、職員玄関から入って職員室を抜けた場所に置かれています。台座の位置の決め方や五重塔を防御する工作の設置の仕方など、とても素人には真似の出来ない仕事に驚かされました。

朝の散歩時に覗く五重塔は、暗い中に、光が放たれているようで荘厳な雰囲気、漂い、つい頭が下がります。(石)

片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも一人6冊まで2週間借りられます。

【開室時間】火〜日曜日 午前10時〜午後5時

《新刊案内》※令和3年8月現在

「彼岸花が咲く島」 李 琴峰

「星落ちて、なお」 澤田 瞳子

「兵諫(へいかん)」 浅田 次郎

「ぼくのお父さん」 矢部 太郎

「われらが痛みの鏡 上・下」

ピエール・ルメートル

「他者の靴を履く」

ブレイディみかこ

「もしものくに」 馬場 のぼる

「ホテルイカは青く光る」 阿部 秀樹

編集後記

新型コロナウイルス感染予防のため、神奈川県に3回目の緊急事態宣言が出る中、東京オリンピックが始まった。ほぼ無観客という異例の大会だった。8月10日現在、県内の高齢者の8割はワクチン接種が終了したと発表された(政府発表)。だが、若い世代の接種完了にはまだ時間がかかりそうだ。

コロナウイルス感染予防対策の三密を避ける生活が1年半を過ぎた。穏やかな日々が戻ることを心から望む日が続いている (お)